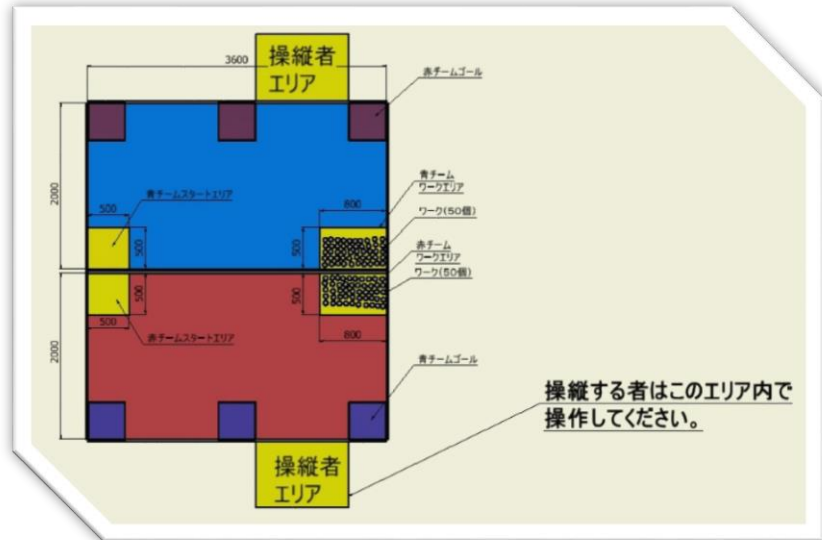


Q1： 操縦者は自分のエリアに入って操縦してもよいのか。

A1： 操縦者は予選、決勝トーナメントの両試合とも図（下の図面参照）のように操縦エリア内で操縦します、自分のエリアに入って操縦してはいけません。ですのでロボットが動き回ることができる十分な長さの制御コードを用意してください。



Q2： 制御コードで防御してもよいのか。

A2： 操縦者は制御コードで相手チームが投げたボールがゴールに入るのを妨害してはいけません。相手チームのゴール上空に制御コードが来ると妨害とみなされます。

Q3： マシントラブル時も試合は続行されるのか。

A3： 操縦者から審判への申請で競技は両チームともに中断（人間がボールの軌道上にいた場合、妨害になるため）、計時はストップする。故障したロボットを操作エリアに移動させたのち試合を再開し計時をスタートする。

Q4： マシントラブルで修理等を終えたロボットはどうやって再スタートすればよいのか。

A4： 再スタートの時は試合を中断してロボットをスタートエリアにセットすることをしません。操縦エリア前にロボットを置いたのち自走して一旦スタートエリアに戻ってから再スタートします。スタートエリアに戻るまではボールを拾ったりシュートしたりしてはいけません。

Q5： 分離禁止について詳しく教えてください。

A5： 本体（移動用の駆動部分を有するもの）から離れた物が、本体の移動や変形に対して全く連動しない場合、また、本体と分かれた物の距離によって全く連動しないことが起こる場合は、分離とします。紐やチェーンなど機械的拘束力のないもので繋がっている場合、弛んだ状態のとき本体の動きに全く連動しないため、分離となります。なお、本体から外れることを想定していない部品が、走行中の振動や衝撃が原因で本体から脱落した場合は、分離とはなりません。